

2026年 記者懇談会資料

旅行産業の発展と観光立国の実現に向けて

2026年7月8日

一般社団法人 日本旅行業協会

Index

1. 全体説明

- 1. インバウンド、アウトバウンドの動向
- 2. 第5次観光立国推進基本計画実現に向けた取組み
 - ・均衡のとれた双方向交流の実現
 - ・訪日旅行の地方分散と日本人の旅行需要の平準化
 - ・旅行会社ならではの高付加価値の提供
 - ・観光産業の担い手育成
- 3. 「ツーリズムEXPOジャパン2026」について
- 4. 「GREEN×EXPO2027」について

2. 国内旅行

- 1. 国内旅行マーケットの現状
- 2. 「休み方改革」推進
- 3. 「GREEN×EXPO2027」に向けて

3. 海外旅行

- 1. 海外旅行販売の現状
- 2. アウトバウンド促進協議会(JOTC)活動
- 3. JATA海外旅行拡大「もっと! 海外へ」の取組み

4. 訪日旅行

- 1. インバウンドの概況
- 2. インバウンドの課題解決に向けたJATAの取組
- 3. 高付加価値化と地方誘客に向けて
- 4. インバウンド商品の品質向上に向けて

1. 全体説明

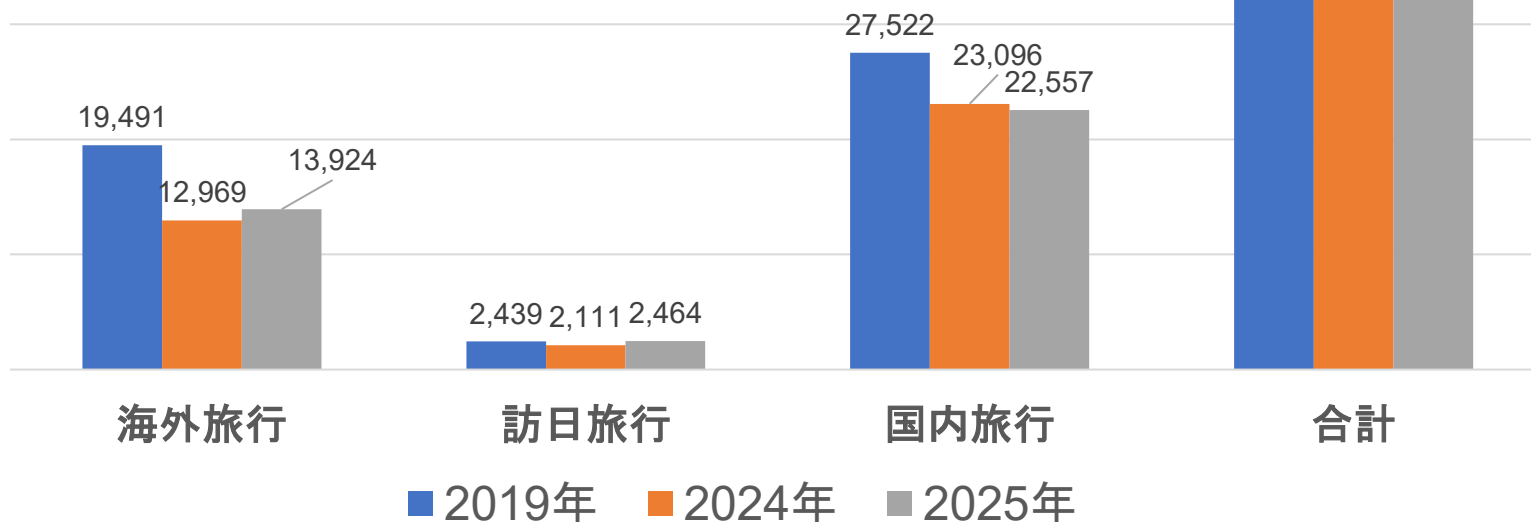
- 1. インバウンド、アウトバウンドの動向(概要)
- 2. 第5次観光立国推進基本計画実現に向けた取組み
 - ・均衡のとれた双方向交流の実現
 - ・訪日旅行の地方分散と日本人の旅行需要の平準化
 - ・旅行会社ならではの高付加価値の提供
 - ・観光産業の担い手育成
- 3. 「ツーリズムEXPOジャパン2026」について
- 4. 「GREEN × EXPO2027」について

1.マーケット動向

<主要旅行業者旅行取扱額2019-2024-2025比較>

2019-2024-2025比較 1-12月累計（単位：億円）

	海外旅行	訪日旅行	国内旅行	合計
2019年	19,491	2,439	27,522	49,452
2024年	12,969	2,111	23,096	38,176
2025年	13,924	2,464	22,557	38,945
2019年比	71%	101%	82%	79%

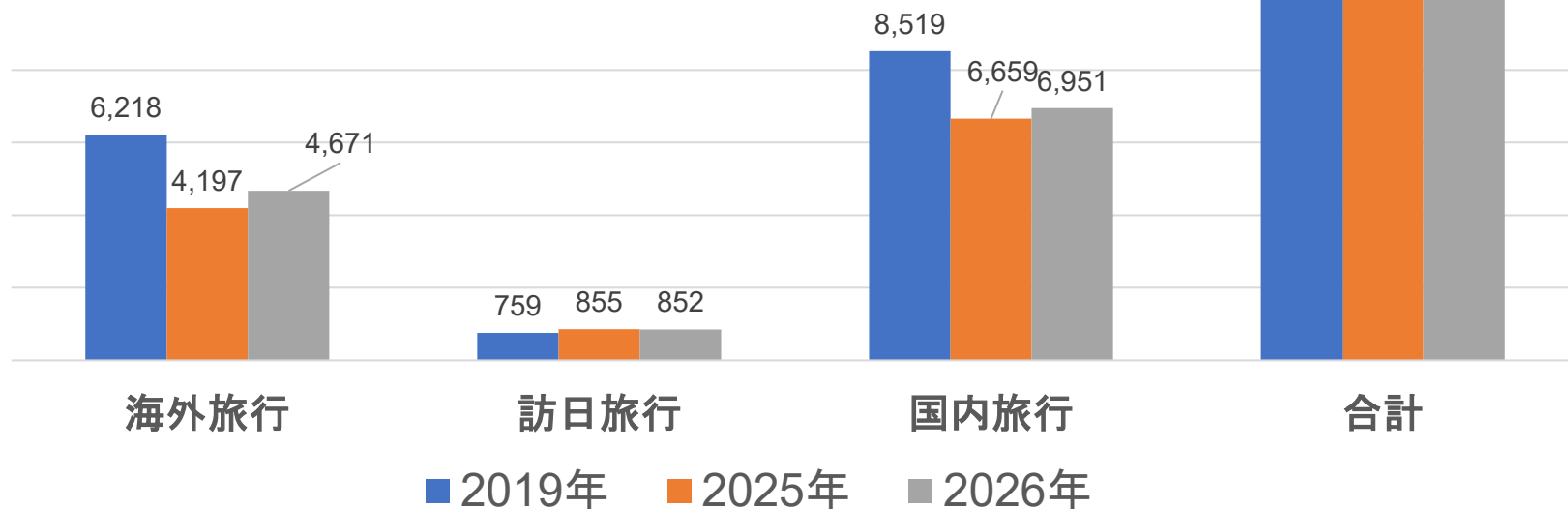


1.マーケット動向

<主要旅行業者旅行取扱額2019-2025-2026比較>

2019-2025-2026比較 1-4月累計（単位：億円）

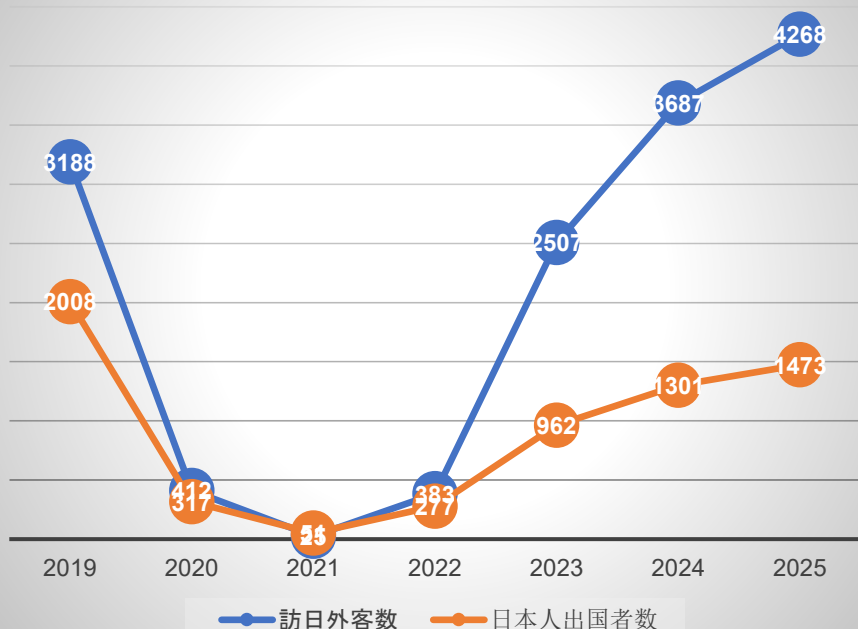
	海外旅行	訪日旅行	国内旅行	合計
2019年	6,218	759	8,519	15,495
2025年	4,197	855	6,659	11,711
2026年	4,671	852	6,951	12,474
2019年比	75%	112%	82%	81%



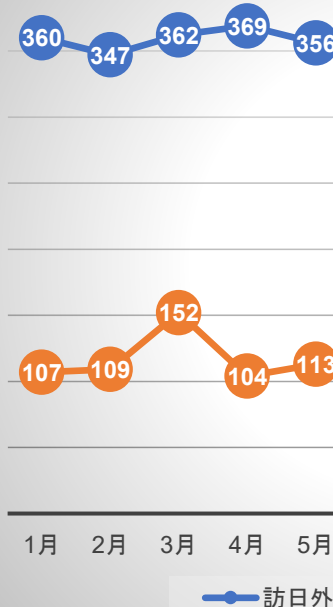
<インバウンド・アウトバウンドの状況>

2025年インバウンドは約4,300万人、アウトバウンドは約1,500万人で
未だ大きく乖離、出入国に占める日本人の割合は26%。2026年1～5月累
計では25%（前年同期比プラス2%）。

2019～2025年 訪日外客数と日本人出国者数（万人）



2026年 訪日外客数と日本人出国者数(万人)



出展：日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計

「価値への変革」で挑む新生・観光立国への道

市場の均衡と持続可能性の追求

訪日外国人旅行者数(2025年) ツーウェイ・ツーリズム
約**4,300万人**
(過去最高):極めて好調

日本人出国者数:
コロナ前の約7割
(伸び悩み)

パスポート保有率(2025年)
18.4%

地方分散と平日平準化による課題解決
オーバーツーリズムを防ぎ、有休取得促進等で
旅行需要を平日に分散させる。

海外旅行マインドの活性化
パスポート手数料の引き下げを契機に
伸び悩む日本人の海外旅行回復を図る。

付加価値の創造と強固な産業基盤



高付加価値旅行へのシフト
単なる手配代行から脱却し、地域と連携
した「ストーリーのある旅」を提供する。



未来の旅行業を
つくるのは、君だ。

JATA就職ナビ

観光産業の担い手の育成・確保
「JATA旅行未来塾」等を通じて、次世代
を担う専門性の高い人材を育成する。



ビッグイベントを通じた発信

ツーリズムEXPOやGREEN×EXPO 2027を通じ、
サステナブルな観光を世界へ発信。

ツーリズムEXPOジャパン2026

開催概要



開催日

2026年9月24日(木)~27日(日) |
業界・プレス日 9/24・25 / 一般日 9/26・27



会場

東京ビッグサイト 東展示棟 (東1・2・3・7・8
ホール)、会議棟



開催 テーマ

進化する旅のカタチ
The Changing Nature of Travel



合同開催

VISIT JAPAN トラベル&MICEマート (VJTM)
2026 | 主催: JNTO (西展示棟1ホール)



来場者数 (予定)

180,000人
(業界日: 72,000人、一般日: 108,000人)

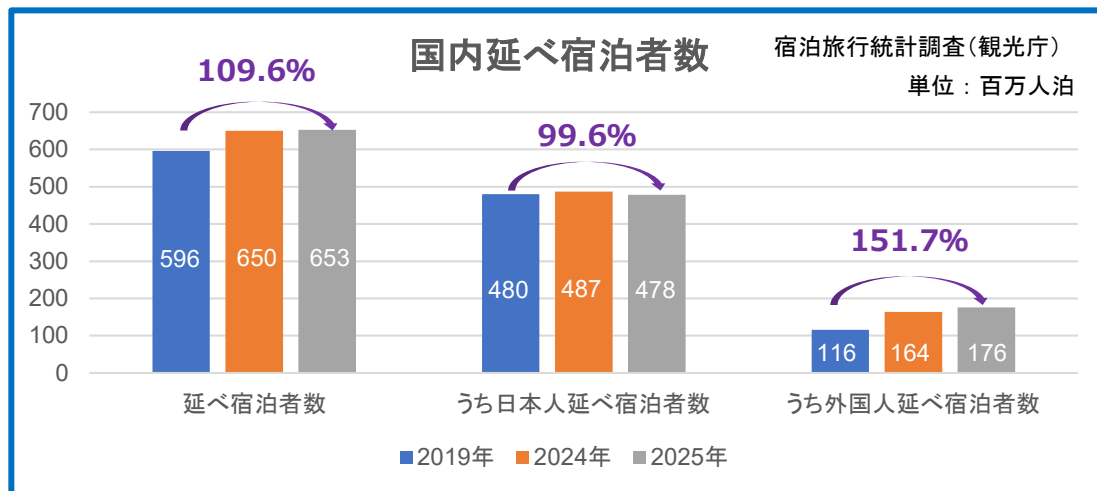


2. 国内旅行

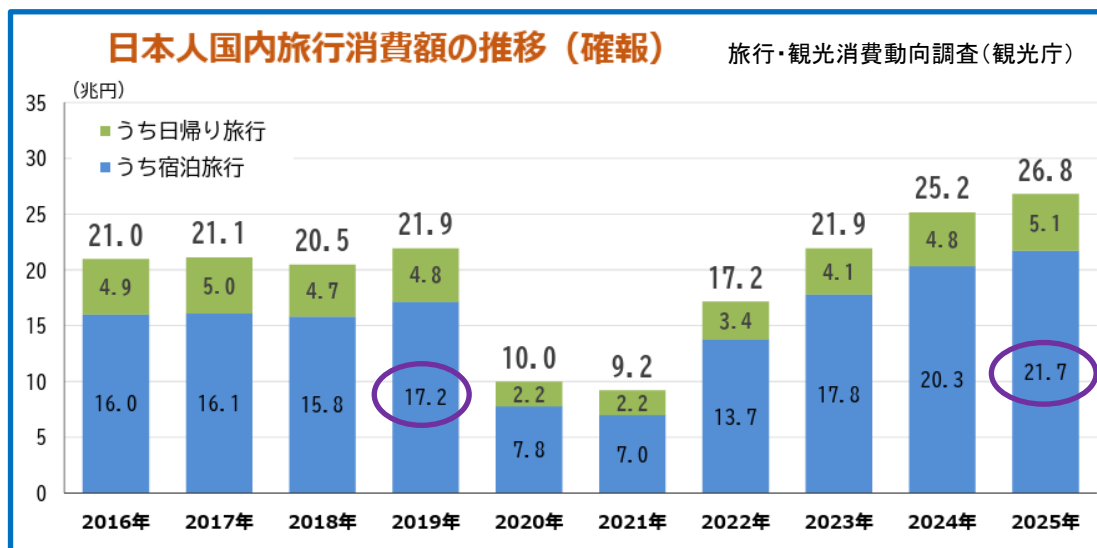
- 1. 国内旅行マーケットの現状
- 2. 「休み方改革」推進
- 3. 「GREEN×EXPO2027」に向けて

1. 国内旅行マーケットの現状

<国内旅行のマーケット動向と旅行会社の状況>



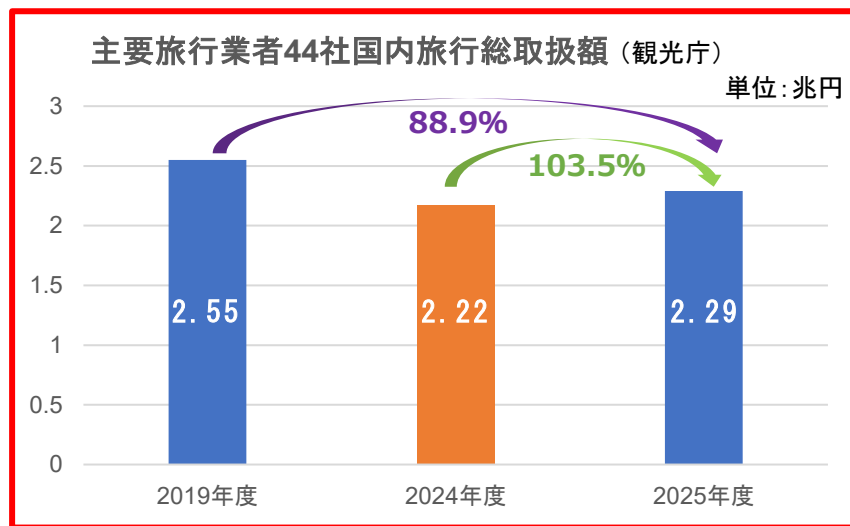
コロナ禍を経て国内の宿泊者数は、インバウンドが大きく伸びているのに比べ、日本人宿泊者は横ばいの状況である



一方で宿泊単価は上昇を続けており、日本人の国内旅行消費額(特に宿泊旅行)はコロナ禍前を大きく上回っている

1. 国内旅行マーケットの現状

<国内旅行のマーケット動向と旅行会社の状況>



国内旅行マーケットの回復状況に
比して旅行会社の国内旅行取扱は
コロナ禍前には戻っていない

コロナ前とコロナ後では「店舗展開の
縮小・廃止」「OTAや運輸機関の直販
の加速」等で旅行会社の取扱はマー
ケットの伸びを捕捉できていない

しかしながら、旅行会社の国内旅行取扱額は2024年度で下げ止まり、2025年度
は前年を上回る状況となっている

旅行会社各社の強みを活かした事業の再編や、これまでの「数」を追うスタイル
から脱却した「価値ある商品の企画・販売」、「地域の皆様と連携した発着双方の
視点での需要創出・価値創出」が実りつつある

2.「休み方改革」推進

<国内旅行需要の拡大に向けて>

国内旅行の消費額も日本人、インバウンドともに過去最高となり、これからの国内旅行需要を拡大していくためには、これまで週末やGW、夏休み等に集中していた日本人の国内旅行需要を平準化し、平日旅行を増やしていく取組が必要です(このまま週末やピーク期に偏り続けていくと、インバウンドの伸びにもブレーキをかけかねない状況と想定)

旅行需要の平準化には日本人の「休み方改革」が不可欠であり、特に第5次観光立国推進基本計画にも明記された「ラーケーション」については、全国各地で導入が進んできています。この動きを加速させ、かつ、国が進めている企業の休暇取得促進(ポジティブオフ)と連動させて、日本人の国内旅行需要の平準化・需要拡大に向け、JATAとしても強力に取り組んでいきます



ラーケーション=Learning(学ぶ)+Vacation(休暇)

2.「休み方改革」推進

<平日旅行に特化したキャンペーンの実施>

国内旅行の需要拡大、旅行需要の平準化を目指したJATAの取組として、今年で3年目となる平日旅行(平日宿泊)に特化した「平日に泊まろう! キャンペーン」を実施しています

平日旅行の拡大に向けて、旅行業界が一丸となって取り組むことにより、国を挙げての休暇取得促進や自治体での各種取組(ラーケーション等)と連動してムーブメントを醸成していきたいという思いでキャンペーンを展開しています

現在、全国の会員会社の482店舗でのキャンペーンチラシ配布や、43社のホームページでのキャンペーン告知など、混雑せずゆっくりと旅することで満足度も高くなるといったメリットをマーケットに啓発することも合わせて、需要拡大に向けた取組を進めています



3. GREEN×EXPO2027に向けて ＜旅行業界としての機運醸成への取り組み＞

来年3月19日に開幕するGREEN×EXPO2027について、JATAでは博覧会協会との連携を密にして、説明会の開催協力や現地視察・機運醸成ミーティングの開催など博覧会を盛り上げていくための準備を進めています

JATA会員各社でも、多数の会社で入場チケットの販売契約を締結しプロモーションを開始しており、秋には各地からの旅行商品も発表・販売開始となることから、順次取り組みを行っていきます

開催まで1年を切り、認知度向上・機運醸成においても半年前となる秋以降が重要な時期になってきますので、旅行会社ならではの企画やホスピタリティで博覧会を大きく盛り上げ、来場するお客様の満足度向上に貢献できるよう、進めてまいります



3. 海外旅行

- 1. 海外旅行販売の現状
- 2. アウトバウンド促進協議会(JOTC)活動
- 3. 海外旅行拡大「もっと！海外へ」の取組み

2026年 アウトバウンドの現状

JATA海外旅行推進部 作成

6/17現在

全体 往来数 月別・年別比較

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

<https://www.tourism.jp/tourism-database/stats/outbound/>

<https://statistics.jnto.go.jp/graph/#graph--Japanese--Trends>

(人)

アウトバウンド	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	進捗 (1-5月)
2026年	1,072,602	1,093,250	1,518,999	1,042,089	1,127,400								5,854,340	
vs2025	117.6%	92.6%	106.7%	108.4%	104.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	39.7%	105.4%
vs2019	73.9%	71.2%	78.7%	62.5%	78.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.2%	73.0%
2025年	912,298	1,181,062	1,423,449	961,386	1,076,756	1,054,045	1,205,435	1,648,279	1,394,525	1,243,575	1,330,014	1,300,741	14,731,565	5,554,951
vs2019	62.8%	77.0%	73.8%	57.7%	74.9%	69.3%	72.7%	78.1%	79.6%	74.8%	81.0%	76.0%	73.4%	69.3%
2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319	20,080,669	8,021,339

出典 : JTB総研

2026年 国別アウトバウンド回復状況

方面	累計期間	渡航者数(人)	対2025(%)	対2019(%)
トルコ	1-4月	42,990	92.1	141.4
韓国	1-4月	1,244,028	119.6	114.7
ベトナム	1-4月	309,125	110.3	102.1
オーストラリア	1-4月	144,170	114.6	89.0
シンガポール	1-5月	254,340	108.9	73.8
全体	1-5月	5,854,340	105.4	73.0
台湾	1-5月	583,892	99.4	69.5
スペイン	1-4月	136,600	96.3	69.0
タイ	1-5月	434,980	97.9	58.7
香港	1-4月	235,789	94.7	50.7
アメリカ(ハワイ・グアム含)	1-4月	610,558	106.1	50.6
ハワイ	1-4月	231,634	107.1	46.8
グアム	1-5月	109,421	108.3	39.2

出典：JTB総研・各政府観光局・JNTO

主要43社海外外旅行取扱高 回復率比較 (2026年1 - 4月累計比較 単位:百万円)

市場	2026年	2025年	回復率	2019年	回復率
全体	467,118	419,715	111.3%	645,872	72.3%
業務渡航	77,908	69,404	112.3%	77,898	100.0%
総合・団体	192,830	166,110	116.1%	285,226	67.6%
総合・レジャー	162,080	149,511	108.4%	218,918	74.0%
レジャー	34,300	34,690	98.9%	63,830	53.7%

※ 観光庁発表 主要旅行業者43社旅行取扱状況速報より

参考：月別 全体回復率（2019年比）

1月 73.8% 2月 77.6% 3月 78.0% 4月 60.7%

1. 海外旅行販売の現状

(現状: 外的要因)

● 航空仕入環境

グローバルスタンダードへの対応(時価、予約完了後に支払うデポジット、キャンセル料など)

● 旅行代金高騰、政情不安

1. 円安の影響 → 高止まり? 160円台への懸念

2019年平均TTSレート → $1\$ = 110$ 円 → 2024年平均TTSレート → $1\$ = 153$ 円 → 2025年平均TTSレート $1\$ = 151$ 円

2. 海外現地コスト高(【The Economist引用】2024年、2025年ビッグマック指数) → 高止まり

2024年 → ユーロ圏912円、米国856円、カナダ830円、オーストラリア761円、シンガポール748円、UAE737円、韓国601円、中国531円、日本480円

2025年 → ユーロ圏898円、米国874円、カナダ820円、オーストラリア736円、シンガポール781円、UAE740円、韓国580円、中国532円、日本470円

3. 燃油サーチャージの高止まり(参考 ANAサーチャージ往復) → 急激な上昇、9月から下降期待

2019年6月 欧米 21,000円 → 2025年6月 63,800円 → 2026年7月 130,000円

2019年6月 ハワイ 12,000円 → 2025年6月 40,800円 → 2026年7月 80,800円

2019年6月 東南アジア 9,000円 → 2025年6月 32,600円 → 2026年7月 67,000円

4. 中東地域、危険レベル2

中東7ヶ国、外務省危険情報レベル3 → 2(6月25日、発出)

UAE(ドバイ)、サウジアラビア(リヤド)、オマーン(マスカット)、カタール(ドーハ)、クウェート(クウェート)、バーレーン(マナーマ)、ヨルダン(アンマン)

※()は、主な都市

●2026GW対2025GW人数ベース比率

2026	北中南米(含ハワイ)	ヨーロッパ・中東・アフリカ	アジア・ミクロネシア・オーストラリア
A社	106%	84%	73%
B社	109%	108%	86%
C社	108%	111%	115%
D社	140%	153%	56%
E社	85%	40%	90%
平均	110%	99%	84%

●2026(7月～9月) 対2025(7月～9月)人数ベース比率

2026	北中南米(含ハワイ)	ヨーロッパ・中東・アフリカ	アジア・ミクロネシア・オーストラリア
A社	92%	106%	75%
B社	115%	100%	120%
C社	101%	87%	103%
D社	89%	86%	72%
E社	80%	90%	90%
平均	95%	94%	92%

2.アウトバウンド促進協議会(JOTC)活動 ～JOTC活動における付加価値需要創出～

●JOTC東アジア部会

JATAオリジナルイベント ハマン落下ノリ(韓国) 2025年10月

参加旅行会社→23社、集客1,000名

日韓国交正常化60周年を記念し、実施。韓国はソウルに集中する観光客を地方へ誘客することを課題にしており、釜山から車で約1時間半でハマンで開催された当イベントで地方の魅力をアピールすることに成功。2026年も10月に実施予定。

JATAオリジナルイベント 野柳ライトアップイベント(台湾) 2025年6月

参加旅行会社→7社、集客400名

新北市の野柳地質公園(野柳ジオパーク)で地元台湾人向けに2週間に渡るイベントを1日だけ台湾観光庁の協力により日本人観光者向けにアレンジして実施したイベント。2026年も6月に実施予定。

JATAオリジナルイベント 合同天燈上げイベント(台湾) 2025年12月

参加旅行会社→17社 集客1,100名

台湾の伝統行事である天燈上げを組み込み、各社オリジナルの高付加価値商品を造成し、台湾観光庁の協力のもと実施。

●JOTCアジア部会

JATAオリジナルイベント ニューイヤーカウントダウンイベント(香港) 2025年12月

参加旅行会社→7社、580名

日本人観光局専用ブロックで楽しむイベント。11月の香港大規模火災の影響で花火イベントが中止になり、開催も危ぶまれたが花火に代わる代替イベントをお客様に提案し実施。

JOTCアジア部会では、ベトナムでのイベントも企画中。

●JOTCオセアニア・大洋州部会

カーボンオフセットの取り組み(オーストラリア)

参加旅行会社→6社

オーストラリアのReforest社のプラットフォームを活用した植樹による森林再生プロジェクトに参加する。カーボンオフセットの旅行を提案し実施することで、お客様の企業価値・CSRの向上につなげ、オーストラリアの総客を図る。

サステイナブルな旅行(自然・環境保護・文化・平和)の取り組み(パラオ)

パラオ政府観光局と連携し、個人向けパッケージツアーや教育旅行を含む団体旅行に環境保護や地域会社への理解を深めることを目的に付加価値を付けツアー造成を促す。

●JOTC欧州・中東部会

付加価値旅行造成を目的としたFAMツアーの実施

ポーランド(2025年10月)、ラトビア(2025年12月)、ポルトガル(2026年1月)、スロヴェニア・クロアチア(2026年5月)、ギリシャ(2026年5月)など今後も継続予定。

ヨーロッパ観光委員会「美味しいヨーロッパ Gastronomy journey」

ヨーロッパ13カ国の美味しいものをテーマとした美食の紹介、フォトライブラリー展開。

●JOTC北中南米部会

ハワイ団体販売セールス(BtoB施策)

団体セールス(若手)向けに初めて実施、販売意欲の向上と集客に寄与(20,000ルームナイト)。

●JOTCクルーズ旅行推進部会

2030年日本人クルーズ100万に向けて

韓国クルーズ研修、MSCクルーズ研修を実施。クルーズ販売手法のセミナー等実施。2026年も海外クルーズマーケット視察(シンガポール)を予定。

3.JATA海外旅行拡大 「もっと！海外へ」の取り組み



6月16日(火) 外務省、観光庁、JATA 3者合同記者会見

●もっと！海外へ 海外旅行2,000万人
パスポート保有率20%へのアプローチ

1. もっと！海外へ→海外旅行の拡大

2. たびレジの普及啓発→海外旅行の安心・安全の啓発活動

もっと！海外へ 海外旅行2,000万人、パスポート取得率20%へのアプローチ

7/1にパスポート手数料の引き下げが実施され、同日は、JATAの設定した「旅の安全の日」でもあります。このタイミングで6月16日にJATA、外務省、観光庁で記者会見を実施しました。パスポート取得を促し、更なる海外旅行の機運醸成を図ると同時に、JATA会員会社では『海外旅行の拡大』と『たびレジを活用した海外旅行の安全・安心の啓発活動』を実施して行きます。

1. もっと！海外へ

①特設HPにて旅行会社のキャンペーンおよび一押し商品を紹介

※100ツアー以上

観光庁と連携して「日米観光交流促進キャンペーン」も掲載

※米国商品30ツアー以上

②特設HPにて航空会社、空港会社のキャンペーン等を紹介

JL、NHの施策など各空港会社約20社

③政府観光局

もっと！海外へ×初韓 韓国旅行応援キャンペーン（韓国観光公社）など

2. たびレジの普及啓発

①パスポート手数料引き下げキャンペーンと連動

②海外旅行保険も同時に啓発

※一般社団法人 渋谷未来デザインの「GO GLOBAL PROJECT」と連携して、パスポート手数料の引き下げ、たびレジ、海外旅行保険の啓発ビデオを作成

もっ! 海外へ

パスポート取得サポートキャンペーンや世界各国の安心・安全に関する各種情報など、
便利に・お得に・安心して海外旅行を楽しむための様々な情報をお届けします!
海外でしか味わうことのできない風景との出会いや人との交流、多様な歴史やグルメ…。

さあ、もっと! 海外へ。

パスポート発行手数料が2026年7月1日から
最大 7,000円程引き下げになります!

お得なこの機会に新しいパスポートで海外旅行へ!

詳しくはこちら(外部サイト:外務省) ▶

さらにお得なキャンペーンが盛りだくさん!

**旅行会社
キャンペーン**

キャンペーン情報を今すぐチェック! ▶

**空港
キャンペーン**

パスポート取得サポートはこちら ▶

旅もお得に! 旅行会社 キャンペーン

各社のお得なクーポン・ツアー情報を一括比較。
あなたの条件にぴったりの旅が見つかる!

※各社キャンペーンの詳細は
各キャンペーン実施の旅行会社にお問い合わせください。

旅行会社キャンペーン一覧 (五十音順)

会社名●○会社名●
会社名●○会社名
○○○●○○○●○○○●
○○○●○○○●○○○●

会社名●○会社名●
○○○●○○○●○○○●

会社名●○会社名●
会社名●○会社名
○○○●○○○●○○○●

会社名●○会社名●
○○○●○○○●○○○●

JAPAN・USA
Tourism Campaign
2026

2026年はアメリカの建国250周年を迎えるメモリアルイヤー!
イベント盛りだくさんのアメリカへ! いざ出発!!

あなたにぴったりの
**アメリカが、
きっと見つかる。**

※各社キャンペーン・ツアーの詳細は
各キャンペーン・ツアー実施の旅行会社にお問い合わせください。

日米観光交流促進キャンペーンとは?

アメリカ建国250周年やFIFAワールドカップなどビッグイベントが続く2026年。日米の官民が連携し、
双方の観光交流を更に拡大するため、「日米観光交流促進キャンペーン2026」を実施します!

詳しくはこちら(外部サイト:観光庁)

おすそめキャンペーン・ツアー
(五十音順)

会社名●○会社名●
会社名●○会社名
○○○●○○○●○○○●
○○○●○○○●○○○●

会社名●○会社名●
○○○●○○○●○○○●

空港キャンペーン

パスポート申請手数料引き下げ+
さらに! パスポート取得サポートニダブルでお得!

※各社キャンペーンの詳細は
各キャンペーン実施の旅行会社にお問い合わせください。

空港キャンペーン一覧

羽田空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●	成田空港 ○○○●○○○●○○○●
オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●	成田空港 ○○○●○○○●○○○●
成田空港 ○○○●○○○●○○○●	オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●
成田空港 ○○○●○○○●○○○●	オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●
成田空港 ○○○●○○○●○○○●	オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●
成田空港 ○○○●○○○●○○○●	オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●
成田空港 ○○○●○○○●○○○●	オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●
成田空港 ○○○●○○○●○○○●	オホーツク紋別空港 ○○○●○○○●○○○● ○○○●○○○●○○○●



JATA 訴求コメント動画 (30秒) 縦撮影/横撮影

セリフ

SUZUKA)

皆様どうも

全員)

新しい学校のリーダーズです！

全員)

私たちから「特別な」お知らせです！

KANON)

海外旅行に行く時に必須のパスポート！
(パスポートダミーを依頼中/ご確認中) or 合成も検討

RIN)

パスポートの発行手数料が（大幅に）引き下げられました！

MIZYU)

でも、準備はパスポートだけじゃありません！

KANON)

現地の安心情報や緊急連絡を受けれる

RIN)

「たびレジ」の登録も忘れずに！（スマホは出さずテロップフォロー）

SUZUKA)

あと、予期せぬケガや病気に備えて
「海外旅行保険」も最寄りの旅行代理店で加入してね！

KANON)

準備万端で、海外旅行を楽しみましょう！

SUZUKA)

以上！

全員)

新しい学校のリーダーズでした！

4. 訪日旅行

- 1. インバウンドの概況
- 2. インバウンドの課題解決に向けたJATAの取組み
- 3. 高付加価値化と地方誘客に向けて
- 4. インバウンド商品の品質向上に向けて

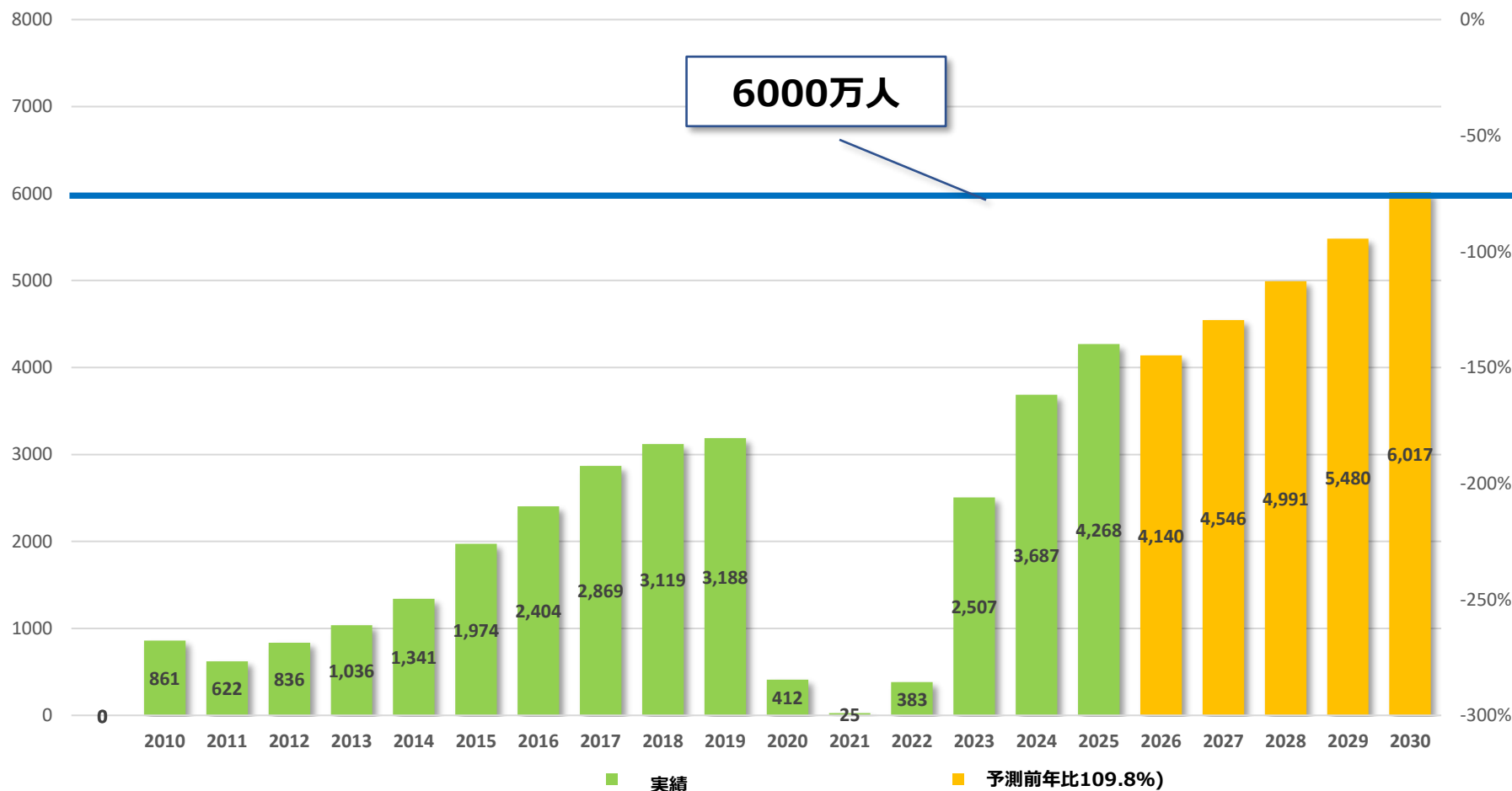
1.インバウンドの概況① 訪日外国人旅行者数の年別推移（2010～2030年）

2026年：訪日外国人旅行者数は一旦踊場へ（JTB訪日旅行トレンド予測では前年比97.2%）

2030年に6000万人を達成するには、2027年から毎年109.8%程度の成長を続けることが必要

※2025年の累計前年比（1～12月）は115.8%の成長

(万人)



出典：日本政府観光局（JNTO）をもとにJATAにて予測を追加
JTBプレスリリース 2026年（1月～12月）の訪日旅行市場トレンド予測

1.インバウンドの概況② ～国・地域別訪日外客数のシェア（対2019年比）

2019年1～5月累計

イタリア 63千人 (1%)	スペイン 42千人 (0%)	ロシア 47千人 (0%)	中東地域 38千人 (0%)
-------------------	-------------------	------------------	-------------------

ドイツ
103千人(1%)

フランス
139千人(1%)

英国
160千人(1%)

メキシコ
26千人 (0%)

カナダ
158千人(1%)

オーストラリア
290千人(2%)

インド
78千人 (1%)

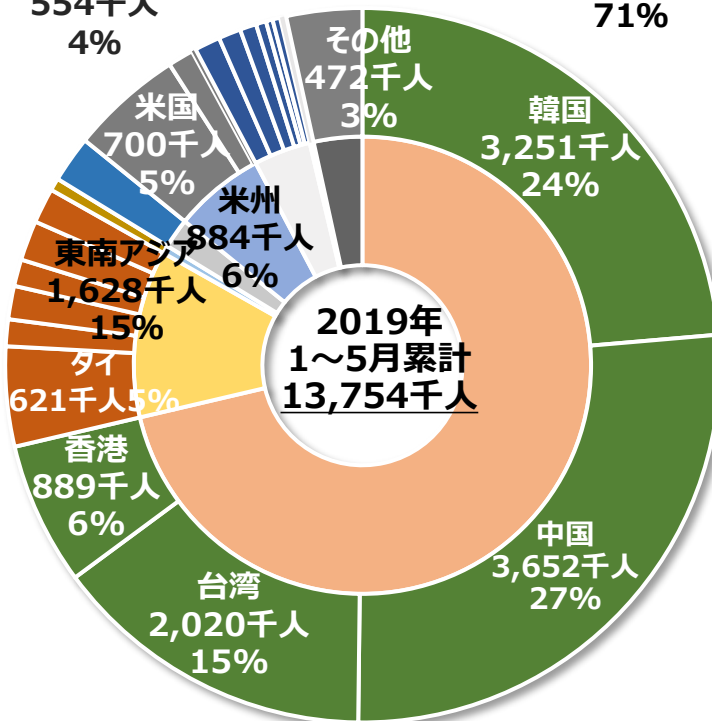
フィリピン
248千人(2%)

インドネシア
167千人(1%)

マレーシア
207千人(2%)

シンガポール
169千人(1%)

欧州
554千人
4%



2026年1～5月累計

(19年対比)
26年1～5月累計差
訪日全体 +4,182千人(+30%)
中国 ▲1,935千人(▲53%)

イタリア 114千人 (1%)	スペイン 86千人 (1%)	ロシア 92千人 (1%)	中東地域 106千人 (1%)
--------------------	-------------------	------------------	--------------------

ドイツ
198千 (1%)

フランス
199千人(1%)

英国
251千人(1%)

メキシコ
96千人 (1%)

カナダ
319千人(2%)

オーストラリア
529千人(3%)

インド
174千人(1%)

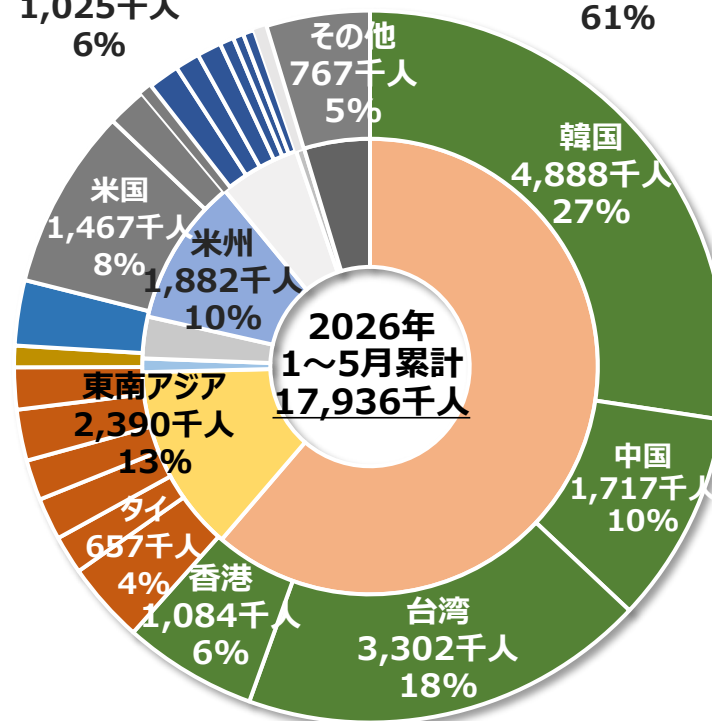
フィリピン
414千人(2%)

インドネシア
327千人(2%)

マレーシア
341千人(2%)

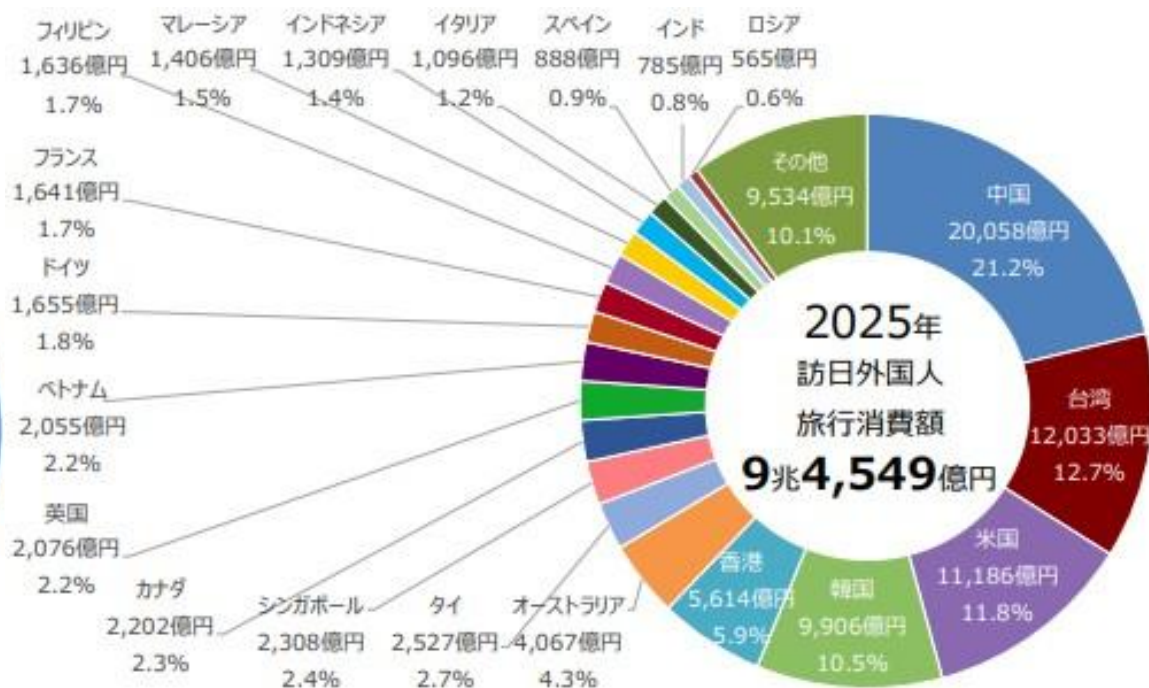
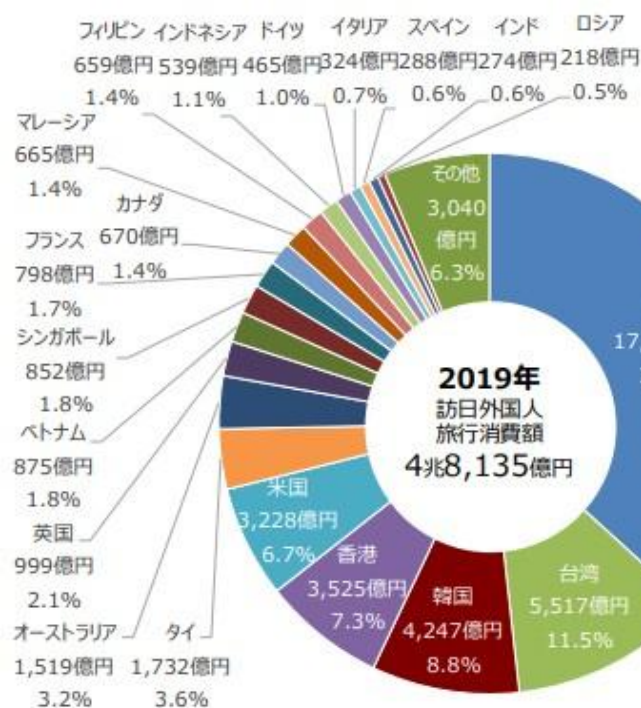
シンガポール
310千人(2%)

欧州
1,025千人
6%

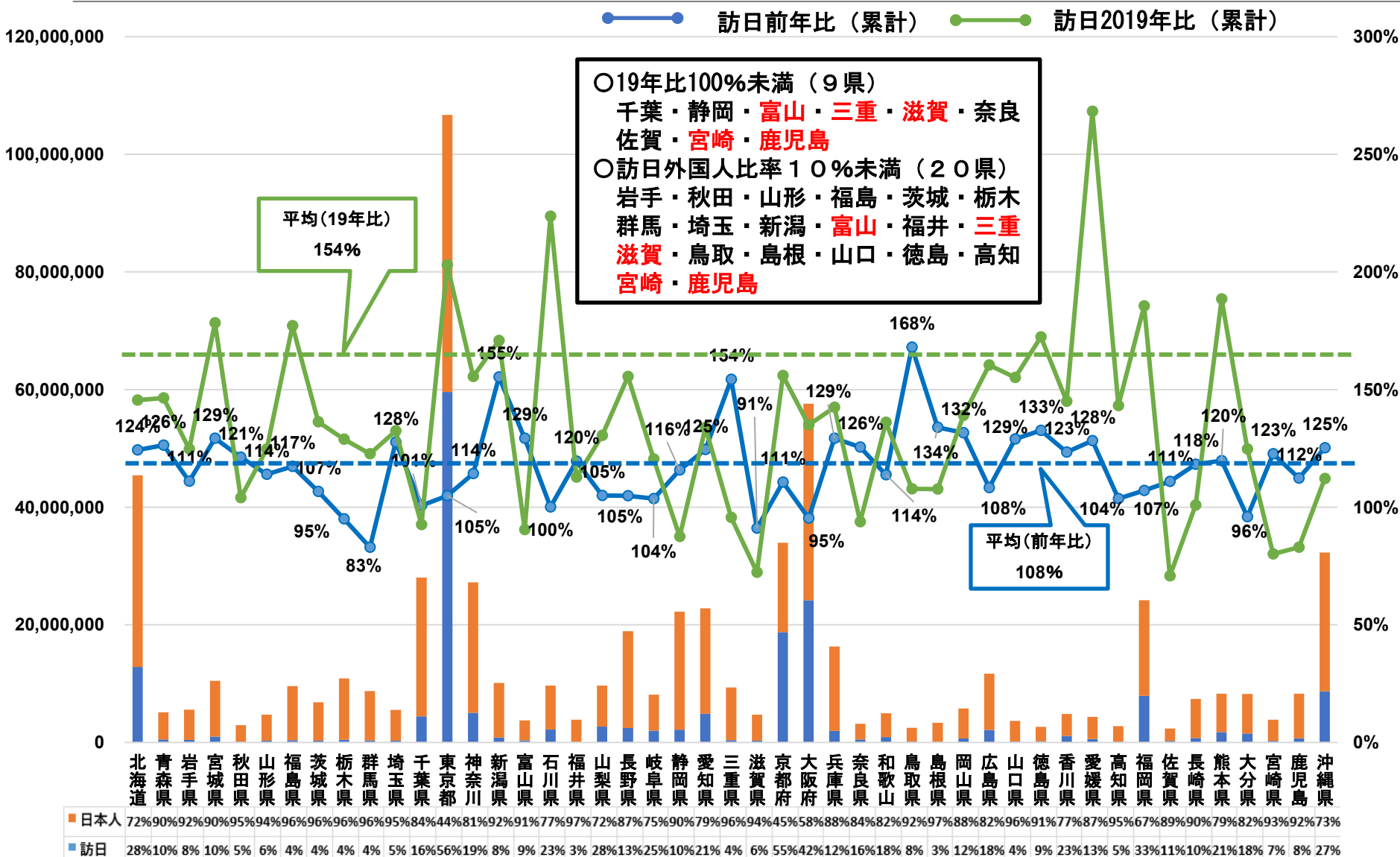


1.インバウンドの概況③ ～国・地域別訪日外国人消費額（対2019年比）

2025年の訪日外国人旅行消費額は2019年比96%増の9.5兆円と、3年連続で過去最高を記録。消費額は中国が最大であるが、2019年比では113%、伸び率では、米国（346%）、豪州（268%）、欧州（256%）台湾（218%）、韓国（232%）を下回った結果、中国のシェアは2019年比で低下（2024年比ではシェア変わらず）



1.インバウンドの概況④ 2025年都道府県別訪日&日本人宿泊数 (2025年累計延べ宿泊者数)



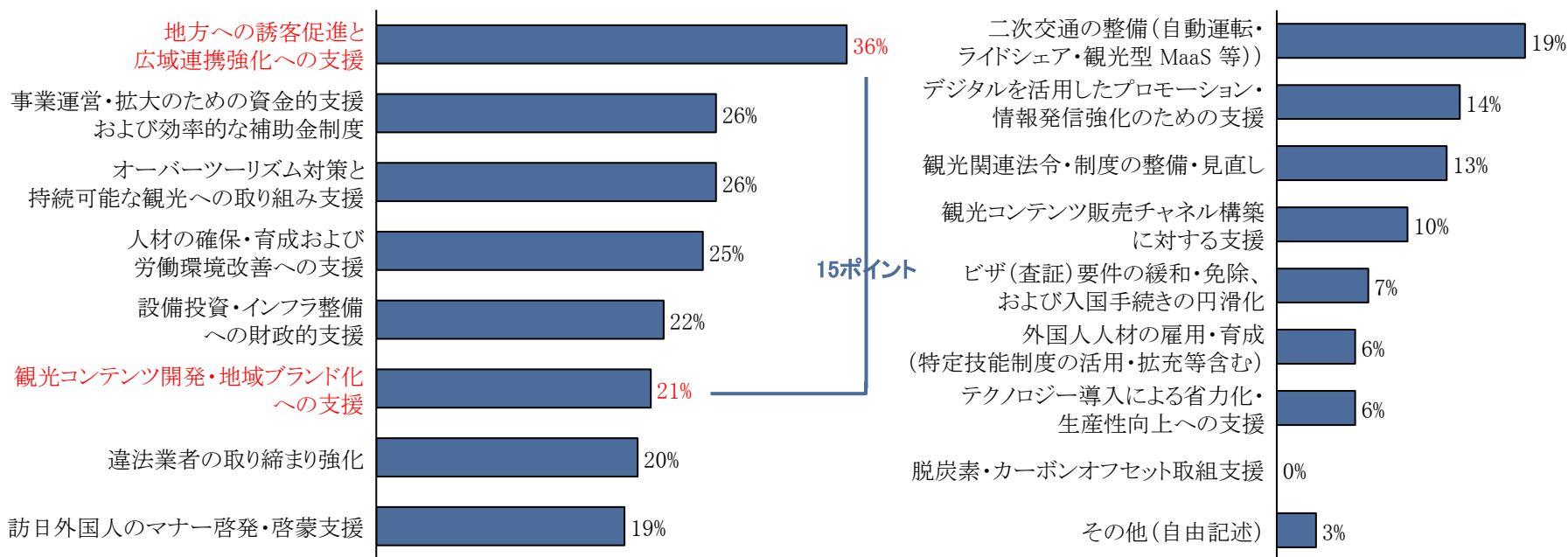
2. インバウンドの課題解決に向けたJATAの取組① ～観光事業者への意識調査から課題を抽出

JATAは2025年で4回目となる観光事業者への意識調査を実施、現在から将来への課題を抽出ひて要望をまとめた。「具体的に必要な国・政府の支援・官民連携」については地方誘客と広域連携強化を求める回答が最多であった。観光コンテンツ開発・地域ブランド化支援より15ポイント多く、広域での連携を求める傾向が高まっていると考えられる。

具体的に必要な国・政府の支援・官民連携のあり方について

第4回 n=265／複数回答

■ 第4回目調査(2025年7月1日時点)



第4回「インバウンド旅行客受入拡大に向けた意識調査」調査結果

https://www.jata-net.or.jp/membership/jata-travelinfo/membership05_03/202509_attitude-survey4th/

2.インバウンドの課題解決に向けたJATAの取組② ～2026年4月、観光庁に要望書を提出

JATAは2025年に実施した「第4回インバウンド旅行客受入拡大に向けた意識調査」から課題を抽出、課題解決に向けた施策をまとめた要望書を2026年4月に村田観光庁長官に提出した。

JATA ニュースリリース

一般社団法人
JATA 日本旅行業協会

〒100-0013 東京都千代田区有楽町3-3-3 全日通商ビル TEL: 03-3592-1244 (広報室) FAX: 03-3592-1268 http://www.jata-net.or.jp

JATA26-004

2026年4月23日

【要望】訪日旅行の持続的発展に向けて
～第5次観光立国推進基本計画目標達成のために～
を提出いたしました

(一社)日本旅行業協会(Japan Association of Travel Agents:会長 高橋 広行)は、「【要望】訪日旅行の持続的発展に向けて～第5次観光立国推進基本計画目標達成のために～」を取りまとめ、石田恒夫訪日旅行推進委員会副委員長(株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル代表取締役社長執行役員)、磯康彦訪日政策検討部会座長(東武トップツアーズ株式会社営業統括本部インバウンド事業推進部顧問)、蝦名邦晴理事長が村田茂樹観光庁長官を訪問し、2026年4月13日(月)に提出をいたしました。

要望作成にあたっては JATA 訪日旅行推進委員会が観光関連事業者・団体を対象に定期的に実施している「インバウンド受入拡大に向けた意識調査」より課題を抽出し、「第5次観光立国推進基本計画」に掲げられているインバウンド関連の目標達成に必要な「地方誘客の一層の推進に向けた官民一体となった総合的なプロモーションの実施」並びに「観光の質的向上を担う観光人材の育成強化」に加え、「国際交流機会の創出による若者の国際教育強化」を要望いたしました。



(左より 村田観光庁長官、石田副委員長、磯座長)

1. 地方誘客の一層の推進に向けた官民一体となった総合的なプロモーション (1) 訪日版デスティネーションキャンペーン

課題

- ・地方誘客推進の連携不足(コンテンツ造成・プロモーション・誘客の一体化)
- ・単年度事業では持続的な誘客に結びつけることが難しく、コンテンツのみの販売に終始

訪日版デスティネーションキャンペーン

複数の予算事業を組合わせて、実質的に
多年度での総合誘客事業への転換を図る

キャンペーンのイメージ

年間2地域に絞って集中展開、2年にわたる事業を5期連続で実施 例: 広域DMO(10)を5期に分けて実施

事業展開イメージ

- 広域DMO・JNTO・旅行会社(広域DMC)が一体となり造成・プロモーション・誘客を実施
- 年間2か所(広域エリア)を選定し多年度にて実施
- 主要ターゲット層:
欧米豪(中東等新規市場)グループ
※滞在日数が長く周遊型ツアーとの親和性が高い
※通訳ガイドを通じたマナー違反等への迅速な対応(地域住民への配慮)

令和8年度予算案額・令和7年度補正予算額

令和8年度予算

- ・オーバーツーリズムの未然防止・抑止をはじめとする観光地の受入環境整備の促進(10,000百万円)
- ・戦略的な訪日プロモーションの実施(13,627百万円)
- ・DMO総合支援事業(2,000百万円)

令和7年度補正予算

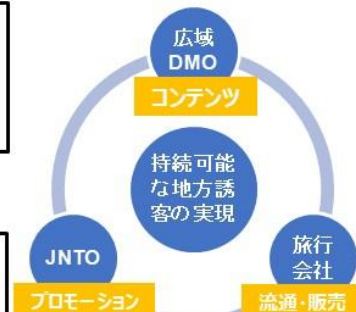
- ・観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業(4,900百万)
- ・地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり(1,200百万) ※その他地方誘客に資する予算事業を積極的に活用

Step 1

- 準備期間(プレキャンペーン)
商品造成・販路構築
受入環境整備 等
期間: 1年

Step 2

- 本キャンペーン期間
商品販売
モニターツアー実施
SNSキャンペーン 等
期間: 1年



観光庁・JNTO・自治体・地域DMO・広域DMO・観光施設・旅行会社・OTA等で一体的に取り組む

(参考) 福島デスティネーションキャンペーン
滋賀デスティネーションキャンペーン(プレスリリース)

3. 高付加価値化と地方誘客に向けて

1. 農林水産省との協力

農林水産省が実施する全国500を超える農泊事業者と日本のランドオペレーターのマッチング事業にJATAが協力している。



2024年 農泊・インバウンドオンライン商談会



2025年 農泊・教育旅行オンライン商談会

2. 環境省との協力

環境省と連携した国立公園満喫プロジェクトに参画し地元自治体・DMOと誘客の為の意見交換を行っている



2025年 やんばる国立公園



2026年 富士箱根伊豆国立公園

3. テーマ別セミナーの主催

年度に1～2回JATAの主催で訪日インバウンド事業者向けの高付加価値、地方誘客をテーマとしたセミナーを実施している。



2024年インバウンド高付加価値セミナー



ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

インバウンド高付加価値への
挑戦!!

～伝統文化を地方誘客の切り札に～

2025年インバウンド高付加価値セミナー

4. 地方自治体/広域DMOとの連携

ゴールデンルートに変わる新ルートの提案や、人流の分散化、地域観光活性化及び地方誘客への貢献を企図した取り組み

**新ゴールデンルート・レインホルルート®
観光セミナー・商談会** Tokyo-Osaka via Hokuriku
New Golden Route
Following the Silk of Japan Northern Coast

2025年
9月3日[水]
13:00～17:30
(受付開始12:30～)

全日通商が関ビルディング 8階 大会議室A
(東京都千代田区霞が関3丁目3-3)

ランドサールプロジェクトとは...
北陸新幹線金沢開通に伴い、主に日本海からの誘客を目的に、2014年に発足された官民広域連携体
連携団体：東京、群馬、新潟、長野、山梨、山形、福島、石川、福井、滋賀、京都、大分、沖縄、JATO

2025年 新ゴールデンルート商談会

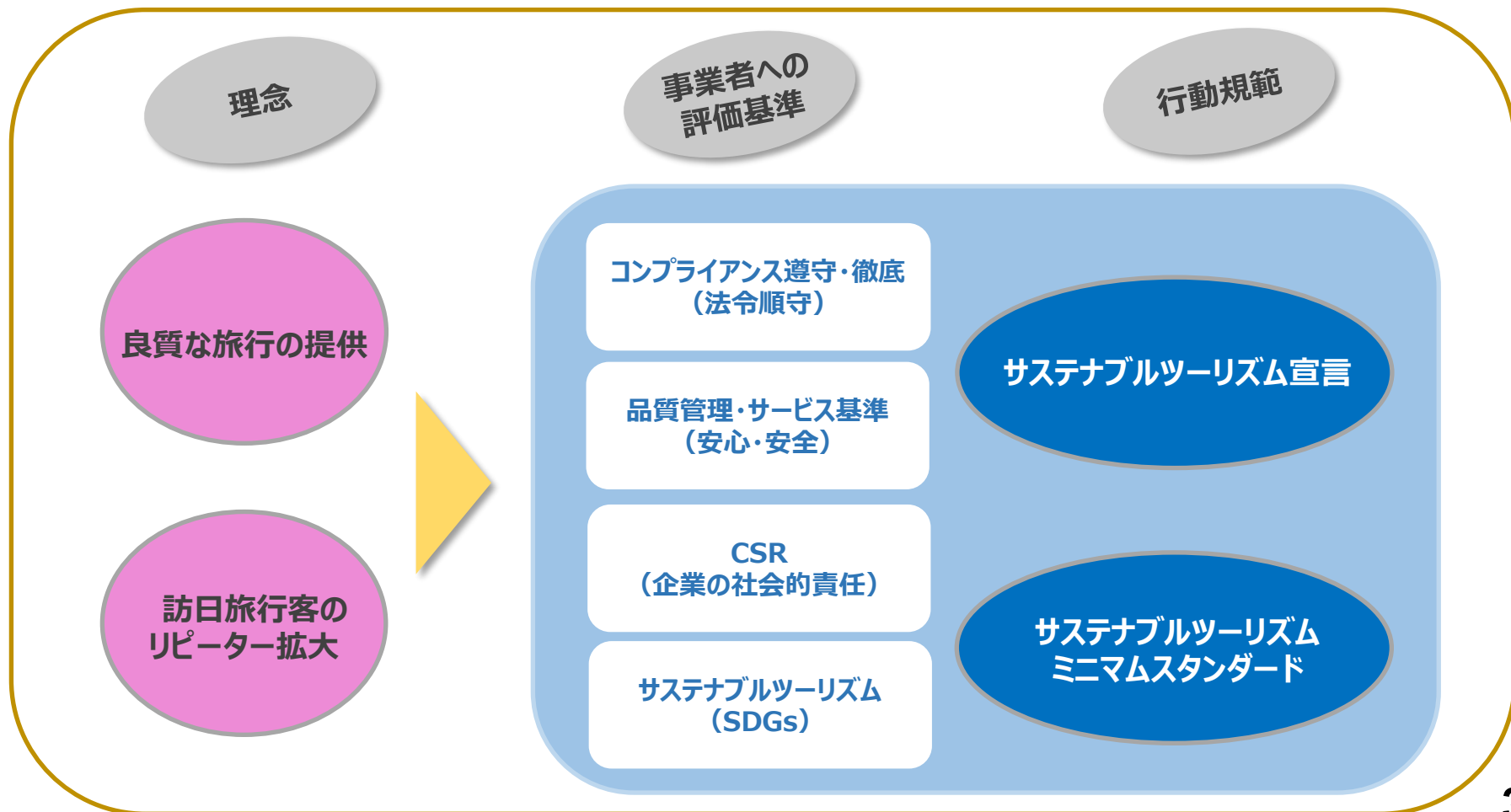


2026年 JATA東北視察・商談会

4.インバウンド商品の品質向上に向けて

ツアーオペレーター品質認証制度 (TQJ)

拡大する訪日需要に対して、質・量両面より安全・安心な旅を提供すべくツアーオペレーター品質認証制度の拡充を図ります。



4.インバウンド商品の品質向上に向けて

ツアーオペレーター品質認証制度（TQJ）2026年度活動案



海外商談会への参加（継続）

認証会社と共同で海外商談会へ参加



WTM London 2025



ITB Berlin 2026

TQJ新規加入説明会（継続）

TQJ新規認定取得を目指す会社に参加する説明会を開催し、認定に必要となる「コンプライアンス順守」、「品質管理」、「CSR」、「SDGs」の4つの評価基準について説明、提出する書類の記載例や申請にあたってのポイントなども解説する予定。
（オンライン開催）

JNTOインバウンド振興フォーラムへの参加（継続）

JNTOインバウンド振興フォーラムへのB to Bデスクに出展。自治体・DMO等への周知を図る



その他

- ・JATA実施セミナー等の優先案内
- ・JNTO海外事務所との連携による訪日取扱旅行会社への周知
- ・自治体・官公庁等のセミナー・商談会等の案内
- ・自治体等補助金事業の案内
- ・インバウンド関連情報の共有



高輪ゲートウェイシティ視察
(2026年2月)

4.インバウンド商品の品質向上に向けて

2026年ツアーオペレーター品質認証制度認証会社一覧

計51社（2026年4月1日現在）



1	(株)日本旅行	13	(株)トライアングル	25	(株)日本旅行沖縄	37	(株)読売旅行	49	(株)近畿日本ツーリスト ブループラネット
2	(株)阪急交通社	14	(株)南海国際旅行	26	(株)ティ・エ・エス	38	彩里旅遊(株)	50	(株)コミュニティー京成
3	名鉄観光サービス(株)	15	(株)エイチ・アイ・エス	27	(株)ラティーノ	39	イオンコンパス(株)	51	(株)ワールドジョイント コーポレーション
4	(株)ジャパングレーライン	16	(株)農協観光	28	(株)J C プラン	40	フリゲートアエロツアーズ		
5	ANA X (株)	17	TOPPANTラベル サービス(株)	29	日新航空サービス(株)	41	ドリーム・ジャパン(株)		
6	(株)JTB	18	(株)ジャンボツアーズ	30	Oriental(株)	42	(株)アイ・ティ・ビー		
7	T-LIFEパートナーズ (株)	19	(株)エヌオーイー	31	琴平バス(株)	43	京王観光(株)		
8	東武トップツアーズ(株)	20	(株)日本旅行北海道	32	タビットツアーズ(株)	44	(株)たびまちゲート広島		
9	(株)JTB GMT	21	西鉄旅行(株)	33	(株)JAPANISSIMO	45	南薩観光(株)		
10	中青旅日本(株)	22	(株)ワールド航空サービ ス	34	イートラベル(株)	46	(株)Honey J コーポレーション		
11	沖縄JTB(株)	23	(株)ジャルパック	35	近畿日本ツーリスト(株)	47	カモメツーリスト (株)		
12	(株)JR東日本びゅう ツーリズム&セールス	24	(株)日本旅行東北	36	(株)HANA TOUR JAPAN	48	奈良交通 (株)		